新河岸川のあらまし（12）

天田　眞

新河岸川水循環センター（表紙参照）

朝霞水門の周辺は、朝霞調節池、黒目川合流点、越戸川合流点、かつての新河岸川と荒川の合流点など、重要ポイントが集中していますが、もう一つの重要施設が右岸にある新河岸川水循環センター。荒川右岸流域下水道（和光・朝霞・志木・新座・所沢・富士見・ふじみ野・川越・狭山・入間・三芳・川島・吉見の 10 市 3 町）の終末処理場で、幸魂大橋の上流側が下水処理施設で橋のすぐ手前で処理水が新河岸川に放流されています。橋の下流側は汚泥の脱水・焼却を行う施設です。

上空を通っている幸魂（さきたま）大橋は、高速道路と一般国道が並行し、新河岸川・荒川に加え彩湖（荒川第一調節池の下流部分の貯水池）もまたいでおり、全長約 1.5km の斜張橋です。

荒川と並行する新河岸川

これから下流、赤羽北東の岩淵水門までの新河岸川は、大正から昭和にかけての改修工事で新たに開削された川です。東京都に入る笹目橋までの約 2.3km の部分は、新河岸川と荒川が並行しており、間を区切る荒川の高い堤防からは見晴らしが良く、荒川対岸には荒川第一調節池の巨大な排水水門が立っています。堤防の右下を流れる新河岸川は、護岸の整備がまだ十分ではないようで、埼玉県で一番下流になる芝宮橋は今年架け替えが終わったばかりです。

白子川の合流点

埼玉県内最下流で合流するのは、和光市と板橋区の境界を流れる白子川。水源は練馬区大泉の大泉井頭公園で、上流・中流部は湧水が多く水質も良く、狭い川ですが蛇行もあり、河道内に多少の緑もあります。しかし、川越街道あたりから下流部になると、コンクリート垂直護岸で直線化され、東京湾の潮位の影響も受け、満潮時には逆流もあるようです。昔はかなり細かく蛇行していて、和光市と板橋区の境界線にその名残が見られます。

新河岸川水循環センターの汚泥処理施設

埼玉県最下流の芝宮橋から板橋区方面を望む

荒川堤防から見た白子川の合流点